

オンライン開催

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

医療者がつくる新しいがん治療 ～医療従事者が知っておくべき「がん治療開発」の取り組み：医師主導治験の運用と実際～

近年、数多くのがん薬物療法が臨床導入されていますが、そのほとんどは製薬企業が主導して臨床開発が行われています。対象患者数が多い「メジャーがん」では企業主導の治験が数多く行われますが、対象患者が少ない「希少がん」や「バイオマーカー等に基づく臓器横断的な固形がん」は、莫大な費用をかけて治験を行っても採算が取れないと判断され、企業主導の治験開発が進まないことが問題となっています。

このような領域に対する治療開発を促進するため、2003年に薬事法（現：薬機法）が改正され、それまでは企業しか主導することができなかった治験を、医師が主導して実施できるようになりました（医師主導治験）。また、質の高い臨床研究や治験を実施するための体制を整備し新規医療開発を促進するため、厚生労働省は「臨床研究中核病院」を認定しています。広島大学病院では「広島臨床研究開発支援センター（CRCH）」を中心に、質の高い臨床研究や治験を実施するための支援体制が整備されています。

このように、医師主導治験をはじめとした臨床開発は医師のみで実施できるものではなく、様々の職種の方々もその取り組みを知り、協力・連携して行っていく体制づくりが必要となります。今回のがん医療従事者研修会では、新規医療開発のための臨床研究を支えるCRCHの体制を知ると共に、実際に「臨床研究中核病院」の臨床研究支援部門と協力して医師主導治験を実施した経験を伺い、我々医療者が知っておくべき「がん治療開発」の取り組みについて学びたいと思います。

講演1 「がん臨床研究支援 ～スタディーマネージメントを中心に～」



広島大学病院 広島臨床研究開発支援センター
臨床研究・計画実施支援部門
研究調整実務管理室 室長

福谷美紀先生

医師自らがアンメットメディカルニーズを対象とした新しい治療法の開発を手掛け、現在では年間100本程度の治験届が提出され、広大においても現在10本程度の医師主導治験が行われています。企業治験と同等の法が課せられていることにより、CRCHにおいてどのように医師主導治験をサポートしているか、スタディーマネージャーの立場よりお話をさせていただきます。

講演2 「遺伝子異常に基づく医師主導治験の経験」



北海道大学病院
腫瘍センター 助教

川本泰之先生

北海道大学病院 腫瘍センターでがん薬物療法を専門として、臨床・研究・教育に奮闘しています。国立がん研究センター東病院やSCRUM-Japanプロジェクトの経験を活かし、現在進めている、BRCA遺伝子変異を有する消化器がん患者さんを対象とした医師主導治験の経験についてお話をさせていただきます。

開催日時 ▶ 2024年9月20日(金)18:00～19:30(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン受講

【申込方法】

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 9月13日(金) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン